

BIツール初心者向け まるわかりガイド



目次

- はじめに
- DXにデータ活用は欠かせない
- よくあるデータ活用の失敗原因
- データ活用に関わる「みんな」とは？
- みんなのデータ活用で大切な3つのポイント
- データ活用を仕組み化するBIツール
- BIツールとは
- みんなのデータ活用に必要な5つの機能
- みんなのデータ活用に適したDomo（ドモ）
- Domoの特長
- Domoによるデータ活用の実例①～③
- 参考）Domoの仕組み
- まとめ
- 参考）Domo認定パートナー NDIソリューションズ株式会社

はじめに

現在競争力の高い企業は積極的なデータ活用を行っている企業ばかりです。それらの企業はデジタルツール/技術の積極的な活用とともにそこから得られたデータを経営や意思決定に活かしています。

そのため、多くの企業がデータ活用に取り組もうとしていますが、データサイエンティストの採用や、BIツールの導入だけで上手くいくという誤解をされている方も少なくありません。

そうではなく、データ活用は組織内にいる「みんな」で取り組むことで成功するものだとは考えております。組織が成長するために必要なのは、データ活用に関わる「みんな」の力です。

本ガイドが皆様の「みんなでのデータ活用」に役立つものとなれば幸いです。



DXにデータ活用は欠かせない

DX（デジタル・トランスフォーメーション）と言えば「デジタル技術の活用」が思い浮かぶと思います。しかし、経済産業省のDXの定義にも記載されているように「**データの活用**」も行っ
てこそ真のDXと言えます。

ビジネスでは日々あらゆる場面で判断が求められることを考えれば、**データをもとに的確な意思決定を実現できるデータ活用をできる企業＝「データドリブン企業」に変わることこそが万能で最強のDXである、**と言えるでしょう。

経済産業省が定義するDX

“企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもちに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。”

よくあるデータ活用の失敗原因

データ活用が上手いかない組織では、以下のような傾向が見られます。

- **独占**：経営者やマネージャーだけでデータを利用し、社員に共有されない
- **ムチャぶり**：適切な仕組みを整えることなく、「データを出せ、集計しろ」と求める
- **搾取**：データの入力や提出を求めるが、データをもとにしたアドバイスや指示は与えられない
- **丸投げ**：目的を示さず、「データを活用しろ」という指示だけがある
- **孤立**：データを共有してもメリットが無いので、自分だけのExcelで十分
- **隠匿**：データを共有すると知られたくない事実がばれるので、都合良いデータしか出さない

これらはいずれもデータ活用が一部のメンバーだけにメリットのあるものだったり、一部のメンバーに負担を強いるものになっていたりすることで生じています。データに関わるあらゆる人たちがデータの共有や活用によりメリットを見出せなくては、データ活用は上手く回りません。

成功へのカギは「みんなでデータ活用して、みんなの成果に繋がる仕組みを整えること」、そして「データ活用して、みんなが幸せになれる組織文化を作っていくこと」です。

データ活用に関わる「みんな」とは？

「みんな」とは企業や団体の組織で働くあらゆる人です。

**データを見て会社の
状況を把握する人**

例) 経営者、経営企画
部門、経理部門



**データを管理し活用を
可能にする人**

例) 情報システム部門、
営業企画部門



**分かりやすくグラフや
表へと可視化する人**

例) 経営企画部門、
情報システム部門



**データから知見を得て
アクションをする人**

例) 営業部門、
製造部門



データを入力する人

経営者から新入社員まで全社員、全従業員



どんなに優秀なデータサイエンティストも間違ったデータからは不正確な分析結果しか出せません。正しい結果を出せたとしてもアクションに繋がらなければ企業にとって無意味です。

データ活用で組織が成長するには、データ活用に関わる「みんな」の力が必要です。

みんなのデータ活用で大切な 3 つのポイント

組織のみんながデータ活用をできるようになるにはポイントがあります。

1. データ活用のための作業が大きな負担にならない

準備や集計作業で手間や時間がかかるデータ活用は継続することができません。作業負荷が高いと必ずミスも生じます。「**データの収集から見える化までの作業が簡単にできる仕組み**」が必要です。

2. 誰もがデータ活用の機会を得られる

面倒なデータ入力や気が進まないデータ共有のマイナス意識を乗り越えるには、データ活用で得られるメリットを体感してもらうことが必要です。そのためには「**分かりやすく見える化できる仕組み**」を作り、誰もがデータ活用の機会を得られるようにすることが大切です。

3. データで議論し判断できる組織文化を確立する

役職の高い人や声の大きい人の意見が優先される組織ではなく、データに基づいた判断や意思決定を行う組織文化を作ることが望まれます。そのためには「**見える化したデータを共有する仕組み**」でデータをもとにしたディスカッションを気軽に行える環境を整えていくことが必要です。

これらの仕組みを整備するための道具が「**BIツール**」です。

データ活用を仕組み化するBIツール

BIとは「Business Intelligence（ビジネス・インテリジェンス）」の略であり、企業におけるさまざまな社内外のデータを集め組み合わせ、分析や可視化を行い、客観的なデータから得られた知見を活かして、ビジネスに必要な意思決定、判断を可能にする手法を言います。

BIツールはこの「BI」を実現するために用意された道具です。

しかし「BIツール」と言っても、製品によって提供する機能は違っているので、「**データ活用に必要な機能のどこまでを仕組み化できるのか？**」をしっかりと考えてツールを選ぶことが大切です



※多くのBIツールはデータをグラフ化して分析する機能までであり、その前後の工程は別製品が必要です。

みんなのデータ活用に必要な5つの機能

データ分析の専門家が自分で使うだけのBIツールと、みんなでデータ活用するためのBIツールでは必要な機能が違います。「みんなのデータ活用」に成功するには**5つの機能**が必要です。BIツール導入の際は**これらの機能を効率的に実現できるか？**をチェックしてみてください。

- ☑ **データの接続：種類や形式の違うさまざまなデータを繋ぐ機能**

組織内にあるExcel、基幹系システム、SaaS等と接続し、必要なデータを収集します



- ☑ **データの蓄積/保管：データを安全に保管し、高速で処理する機能**

集められた多種多様かつ大容量なデータを蓄積し保管します



- ☑ **データの加工：データをクレンジング、結合、変換する機能**

不要なデータや重複データを排除したり、表記を統一したりしてデータをきれいに加工します



- ☑ **データの可視化：データを分かりやすく可視化し、分析を可能にする機能**

グラフ化やダッシュボード作成を行い、誰もがデータから知見を得られるようにします



- ☑ **データの共有：可視化したデータを組織内で簡単に共有できる機能**

BIツール内に搭載されたチャット等で分かりやすくスピーディーに可視化した課題や知見を共有します



みんなのデータ活用に適したDomo（ドモ）

みんなのビジネスにデータ活用の力を「統合型BIプラットフォーム Domo」

Domoは、あらゆるデータを統合・可視化でき、企業のデータ活用を促進する統合型BIプラットフォームです。一般的には「BIツール」と呼ばれるカテゴリーに分類されますが、データ活用に関わるすべての人々が必要とする機能がオールインワンで提供されているため、BIツールを超える「**統合型BIプラットフォーム**」と呼ばれています。

- ✓ いつでもどこからでも最新データにアクセス
- ✓ 散らばった様々なデータを一カ所に集約
- ✓ データの接続、加工、可視化を自動化



- ✓ 誰でも使いこなせる操作性
- ✓ 問題検知の自動化
- ✓ データに基づくコミュニケーション



Excel



財務システム



基幹システム



データウェアハウス



CRM・SFA



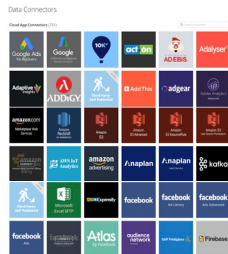
Google Analytics



マーケティング



Domoの特長



さまざまなデータと接続できる1,000種を超える豊富なコネクタ

1,000以上のコネクタで、開発の必要なくあらゆるデータに接続し集約可能です。SaaSアプリケーションだけでなく、オンプレミスのデータベースでも、個人が管理するPC上のExcelでも、Domo上へ集約できます。



BIやプログラミングの経験が無くても、簡単に操作・作成できる

Domoはデータ専門家だけが使うツールではありません。簡単な操作性で、経営者、マネージャー、現場担当者といった「ビジネスユーザー」のデータ活用を実現します。分析のスペシャリストでなくとも、誰でも簡単にお使いいただける直感的な操作環境が特徴で、さまざまな格付け調査でも高い評価を得ています。



企業のデータ活用に必要なあらゆる機能をオールインワンで提供

データの接続や保存/管理、加工、さらに可視化/分析、共有など、データドリブン経営を実現する機能をオールインワンで提供します。企業をデータドリブンな組織に変革するための7つの機能を包含する唯一のプラットフォームです。

Domoによるデータ活用の実例①：業績ダッシュボード

(ドーモ株式会社提供)

Domoを自社で活用、説得力のある提案でお客様のDXを推進

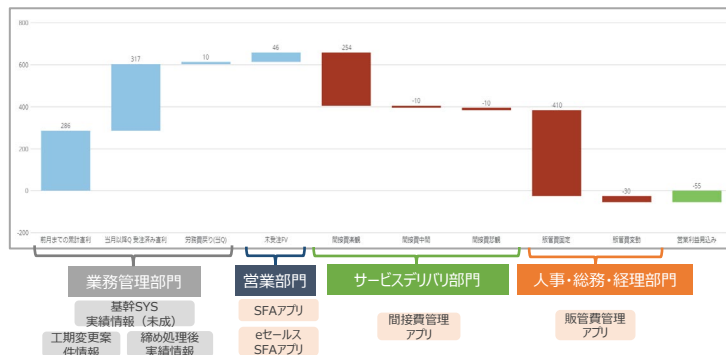
■ 導入前の課題

- 複数のオンプレミスやSaaSシステムに分散したデータ活用が困難
- 業績レポートの作成に多大な時間を要していた
- 従来のBIツールは現場担当者には利用しづらく利活用が進まなかった

■ 導入効果

- 散在したデータを、コネクタやCSVアップロードで容易に集約
- わずか3ヶ月で業績レポート作成をDomo化し、75%の時間を削減
- データに基づくアクションへ変化

異なる部門が異なるシステムで管理しているデータをDomoに集約・集計し、営業利益のシミュレーションを見える化。



いつでもどこからでも、モバイルで最新のレポートを確認。

NDIソリューションズ自社事例

ndis

NDI SOLUTIONS LTD.

“自ら問題に気づいて初めて、強い問題解決への意欲が湧き、その力が発揮されます。現場力をつけるため、原動力となる状況の見える化は、急務と考えていました。しかしばらばらなデータの集約が課題となりずっと実現が難しい状態でしたが、Domoにより実現可能になったのです。”

岩井 淳文 氏

NDIソリューションズ株式会社
代表取締役社長



※本スライドの記載内容は2022年2月現在のものです。

Domoによるデータ活用の実際②：予算管理

(ドモ株式会社提供)



社名：株式会社東海理化

所在地：愛知県丹羽郡大口町

URL：www.tokai-rika.co.jp

業種：自動車部品製造業

東海理化は、人の意思を自動車に伝えるヒューマン・インターフェース部品、盗難などを防ぐセキュリティ部品、搭乗者の安全を守るセイフティ部品の3領域を中心に、スイッチやスマートキー、シートベルトなど自動車を構成する部品の開発・製造を行っています。国内市場／世界市場シェアがトップクラスの製品を抱えており、自動車部品製造業界において確固たる地位を築いています。東証・名証一部上場企業で、トヨタグループの一つとして、世界16カ国で展開しています。

予算管理データをDomoに集約、業務工数を大幅に削減

■導入前の課題

- ・ 部門全体の予実を把握するために、複数のシステムからデータを集計する必要があった
- ・ 正確な予実管理をするためのタイムリーな情報がとれず、部門ごとに個別の予実管理方法を採用していた
- ・ 各システムにまたがる予算管理データを連携し、誰もが見やすく、使いやすいツールを求めている

■導入効果

- ・ 予算管理業務の標準化により各部門の予算管理工数が大幅に削減し、より生産的な活動に注力できる
- ・ 予算管理の意識が向上し、適切な予算執行につながっている。無駄な予算支出があれば削減でき、全社的な経費削減効果も期待できる
- ・ 人事、生産管理、エネルギー管理など、他部門でもデータ活用の検討が広がり、DXが一步前進

主なデータソース

Oracle
Database



CSV



NEXT STEP>>> 製造業ならではの取組み

製造設備が使う電気・ガス・水といったエネルギー利用量を計測・把握し、不要なエネルギー利用の削減へ。
二酸化炭素排出削減にもつながり、ESG活動促進へ

※本スライドの記載内容は2022年1月現在のものです

“試験的な導入として予算管理業務で活用しました。次は、経営層やマネージャークラスにも活用を広げて、全社的にDXを展開したいと考えています。そのためツール選定にあたり、もっとも重視したのがデータの見やすさ、操作のわかりやすさ、つまり、誰でも使いこなせることです。”

坂本 孝文 氏
株式会社東海理化
経理部プロジェクト推進室
室長



Domoによるデータ活用の実例③：現場改善

(ドーモ株式会社提供)

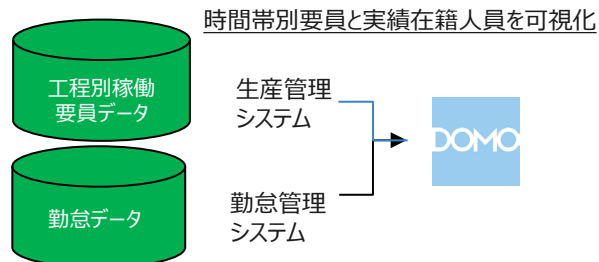
Domoでわかりやすい情報を配信し続け、自発的な業務改善へ

■導入前の課題

1. 工場における原料出庫・開梱・清掃・事務作業・会議といった、ライン業務以外の時間管理や配置人員の最適化に課題を感じていた。以前はExcelで加工集計して、手間と時間がかかっていた。
2. 工場の生産日報は生産日翌日の締め後に確定し、実績レポートはその2日後に配信していた。手作業のためタイムラグが発生していた。

■導入効果

1. 生産管理と勤怠管理システムをDomoに連携し自動化することにより、曜日・時間帯といった時系列やラインや工場単位などの必要な切り口で実績を集計・比較が可能になり、想定と実績との差異や、その原因となっている課題が分かりやすくなった。
2. 全工場でのデータ集計と加工、レポート配信をDomoによって自動化。工場単位で作成された最新の工場生産日報ダッシュボードは、各工場の役職者に定時配信され、工場ごとの工数削減状況や異常値が分かりやすくなり、取り組むべき内容の優先順位が明確になった。



レポート機能を活用した生産日報の配信

レポート機能で10工場の役職者（300名）に工場単位で作成したダッシュボードを定時配信



最新の生産データが確認できる

朝のミーティングで活用結果をすぐにフィードバック

※本スライドの記載内容は2020年10月現在のものです。

社名：敷島製パン株式会社

所在地：名古屋市

URL：www.pasconet.co.jp/

業種：パン、和洋菓子の製造、販売

Pasco

敷島製パンは1920年に創業し、Pascoの愛称で親しまれている。中部・西日本地区に6カ所、東日本地区に4カ所の工場があり、超熟シリーズや菓子パン・菓子の製造・販売を行っている。また、冷食事業やアジアを中心に海外展開も図っている。

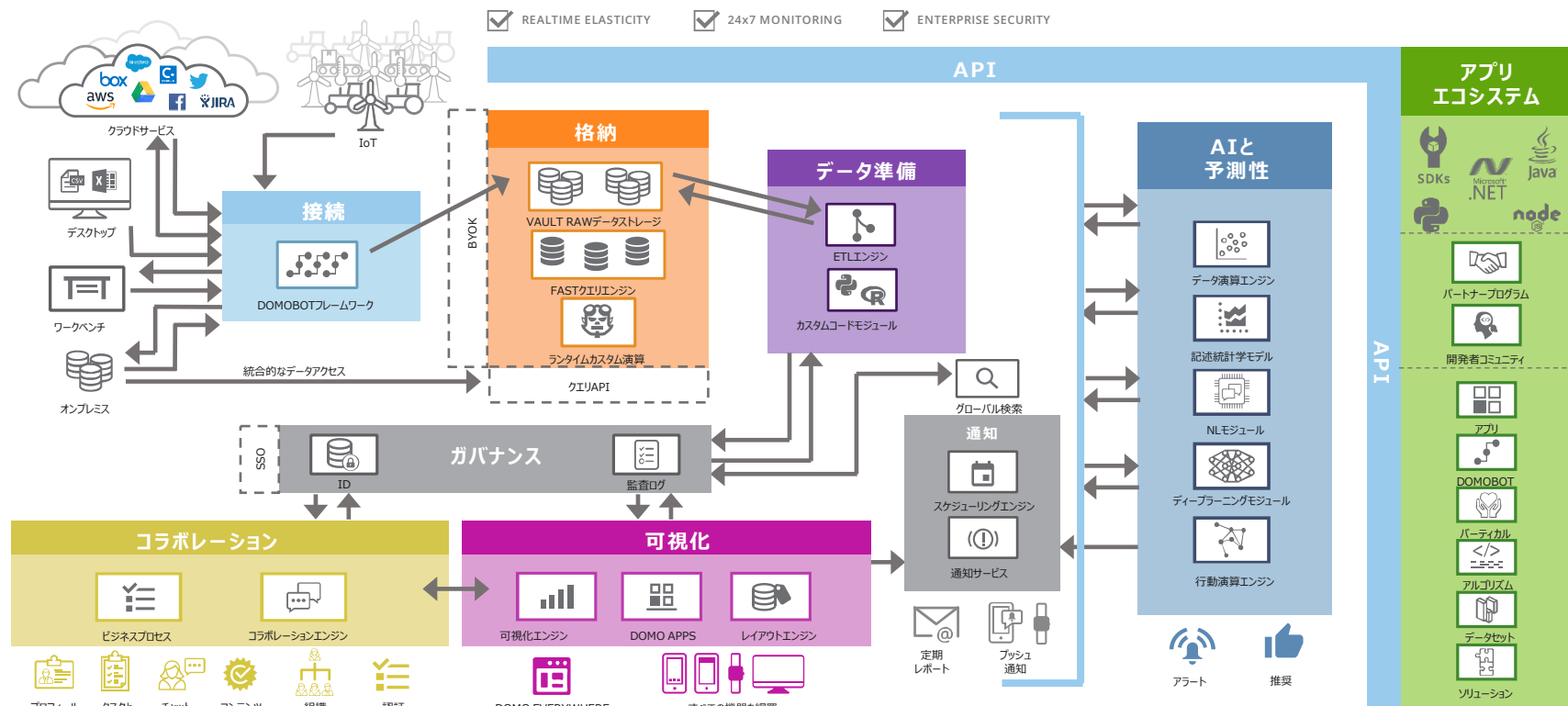
“作業時間実績を可視化することで、直接作業の各工程間にある空き時間を見つけ、そこで可能な間接作業を行うことで、状況を改善することができるようになりました。”

安井慎二 氏
敷島製パン株式会社
生産本部 原価低減・革新部
マネージャー



参考) Domoの仕組み

Domoは企業のデータ活用に必要なあらゆる機能をクラウドサービスとして提供しています。



まとめ



かつてBIツールはデータ分析の専門家が使うものであり、一部の大企業等でのみ導入されていました。しかし、現在は専門家でなくても使いこなせるものが増えており、データ活用の必要性が高まる中で大変ニーズが高まっています。

本気でデータ活用に取り組むなら、BIツールは必ず必要になるものです。導入にはコストや手間がかかりますが、その分のメリットはあります。

ただBIツールにも多くの種類、製品があるので自社に合ったものを選ぶことがとても重要となります。

特に「みんなでデータ活用」するためには本ガイドで解説したポイント等を参考にして、情報収集と比較検討を進めることをおすすめします。

参考) Domo認定パートナー NDIソリューションズ株式会社



NDI SOLUTIONS LTD.

- 本社所在地：東京本社（東京都港区）、大阪本社（大阪府大阪市）
新潟本社（新潟県新潟市）、徳島本社（徳島県徳島市）
- 事業拠点：東京／札幌／新潟／横浜／名古屋／大阪／徳島／岡山／福岡
- 資本金：4億円 ● 従業員数：約400名

沿革

- 1981年 創業40年以上のIT企業
- トッパン・ムーア株式会社のソフトウェア事業部門が独立（以後2度親会社の変更）
- IBM社のソリューションプロバイダーとして各種サーバー等の販売及びサービス事業で成長
- 現在はお客様のDX推進のご支援を中心に各種ソリューションをご提供

事業内容

基幹系業務システムからDXご支援までワンストップでご提供

[動画解析AI](#)、[画像認識AI](#)、[AIチャットボット](#)、RPA、ERP、クラウドサービス、インフラソリューション等

特長

「ショールーム」ポリシー：自ら導入/利用し、価値を確認し、ご提案する

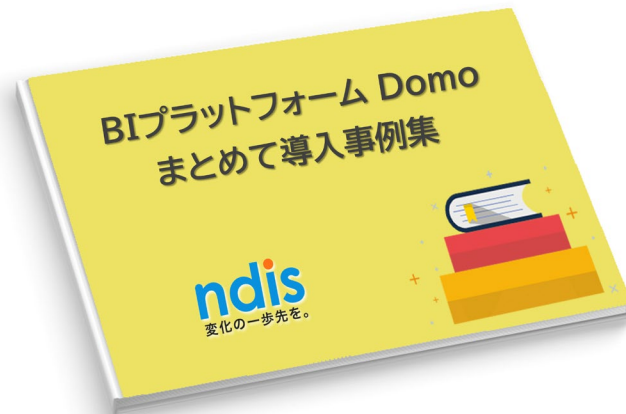


データ活用プラットフォーム Domo 基本ガイドブック

NDIソリューションズが提供するBIプラットフォーム Domo（ドモ）について、導入のメリットや他のBIツールとは違う特長や実績など、基本的な内容を紹介している基本ガイドブックです。

Domoについて知りたい方はまずはこちらのガイドブックをご覧ください。

>> [資料をダウンロードする](#)



データ活用プラットフォーム Domo まとめて導入事例集

製造業、物流業、小売業、情報通信業など、幅広い業種のさまざまな利用法をご紹介します。他の企業や団体でのDomoの使い方を知ること、御社でのデータ活用についてのアイデアやヒントも得られるものと思います。

※ドモ株式会社の協力：事例は全21社を掲載

>> [資料をダウンロードする](#)



変化の一步先を。

NDIソリューションズ株式会社

NDIソリューションズ株式会社

ソリューション戦略本部 マーケティング部

ndi.marketing@ndisol.com